

第113回 高尾山GREEN CLEAN作戦

2020年10月3日(土) 曇り

前回同様、人混みを避けるため集合場所を高尾森林ふれあいセンターに変更、時間も8時30分(通常より1時間前倒し)から開会式、挨拶、コース説明、安全注意、体操を行い、集合写真撮影後班長(1班: 槇田、2班: 藤岡、3班: 入江、4班: 熊木、5班: 野坂)、サポート(脇本、丹野、古谷)で班毎に出発。

高尾599ミュージアム前広場から参道を通り、ケーブルカー清滝駅ホームの左側の橋から稲荷山コースに入るといきなり急坂を上る。まもなく稲荷山の名前の由来「旭稲荷」で休憩、脇にサカキとヒサカキの木がある。

登山道を上がっていくと次々と登山者やランナーが下から上がってくる。上からは朝早く山頂を登りつめた人が下りてくる。犬を連れてきている人もいる。道を譲るにしても追い越し、すれ違いと慌ただしい。10月に入ったというのに僅かにツクツクボウシの音が聞こえてくる。季節はずれのヤマザクラの花がひとつだけ咲いていた。ツタウルシを見ながら水分補給。風の通り道の尾根が涼しい。キジョランの大きな青い実に驚いた後、5号路へ突き当たるところでアサギマダラが飛んでいた。

先着班は11時40分ほぼ予定通りもみじ台に到着して昼食、12時10分から順次班毎に出発。山頂では人出が多い中、ヤマハギを横目で見ながらゴミ拾いに精を出す。誰かが生け垣?の下にあるナンバンギセルを発見。1号路を下っていくと赤いゲンノショウコ、カヤの実などが見られた。十一丁目茶屋前の石垣にあるテイカカズラの実と赤く色づいたトキリマメの実を観察する。

ゴミを拾いながら歩いていくと、浄心門の少し手前の斜面に赤いツチアケビ、すぐ近くにマヤランなど木の日研修で学んだばかりの菌従属栄養植物が次々と姿をあらわした。さすがは「霊気満山」高尾山。1号路を下る途中に緑色のカヤの実がたくさん落ちていて、柑橘系の香りが楽しめた。

自然観察で確認できたのは、(花): カシワバハグマ、ツルギキョウ、オクモミジハグマ、ツリフネソウ、シモバシラ、オオバショウマ、アキノタムラソウ、アキノキリンソウ、(実): ツルリンドウ、ミヤマシキミ、キジョラン、テイカカズラ、ガマズミ、ゴンズイ、クサギ、カシワ、ノササゲ、トキリマメ、ツチアケビ、(冬芽): クロモジ、ダンコウバイほか多数。

全ての班の全員がケガもなく無事に小公園に到着。紙ごみ等20L×1袋、ペットボトル、缶、ビンがそれぞれ1袋ずつ全部で4袋回収できた。



集合写真: 高尾森林ふれあいセンター前

開催場所: 稲荷山コース [高尾森林ふれあいセンター~稲荷山~5号路~もみじ台~高尾山頂~1号路~高尾山口]

参加者: 31名 (一般16名、FIT会員15名)

スタッフ: 入江【代表】、熊木、丹野、野坂、藤岡、古谷、槇田、脇本

報告者: 古谷 一祐【写真】

* 次回の「114回高尾山GREEN CLEAN作戦」は2020年11月7日(土)、高尾駅北口8:15集合、小仏-城山コース [小仏BS~小仏峠~小仏城山~一丁平~高尾山] です。





秋の花①：シモバシラ



秋の花②：オオバシヨウマ



秋の花③：ツリフネソウ



秋の実①：トキリマメ



秋の実②：カシワ



秋の実③：キジョラン



秋の実④：クサギ



秋の実⑤：ツチアケビ



秋の実と花と蕾：ヤマホトトギス



秋の実⑥：ガマズミ